

自宅・四畳半で「二人三脚」!

令和元年(2019年)5月1日刊行

「世界の日本語学習者」と歩んだ 平成の30年間

夫婦の「第二の人生」は、
「日本語」だけの「草の根交流」。

本書に寄せて

言葉を学ぶことは文化を学びその担い手と交流するための基礎基本。

次の世界を担う若者が日本理解を深めることを願い、不屈の信念と情熱で30年を駆け抜けてこられたご夫妻の姿に、人間として最高の生き方の実践とひたすら感動しています。

川村 恒明 (元・文化庁長官。元・日本育英会理事長。
現・(公財)日本ナショナルトラスト副会長)

凛然と輝くご夫妻の一生の偉業!! 私の胸にはどうしてもこれ以上の言葉が浮かばない。

大森和夫さんと私は、早大(政治経済学部)一年生の時のクラスメート。卒業して彼は「朝日」、私は「毎日」の記者。短期間ながら同じ政治部記者として張り合った仲。

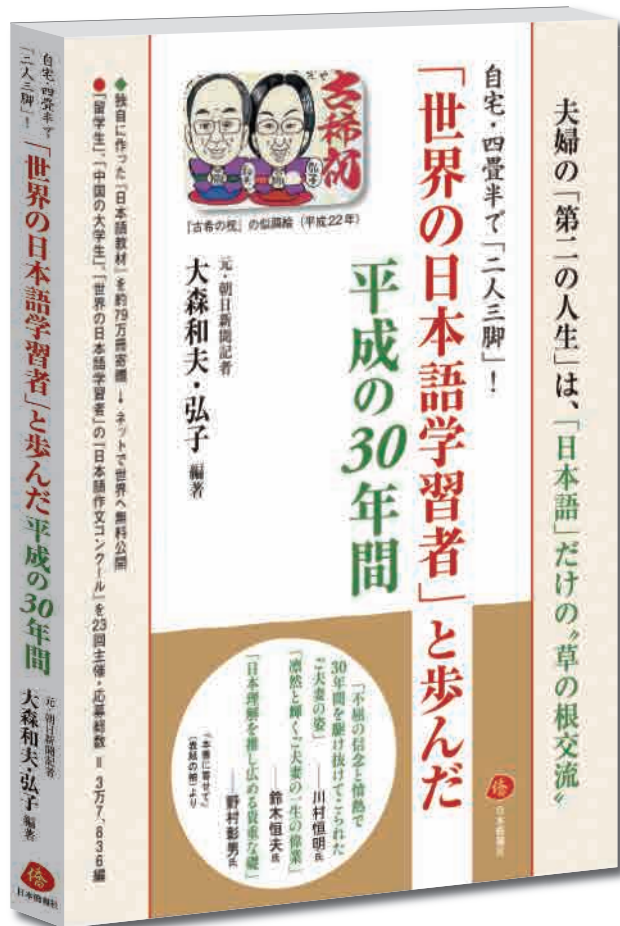
日本語作文を通して「日本の美風」を感得されたであろう方々と共に、ご夫妻にここから「ありがとうございます」と申し上げさせていただきます。

鈴木 恒夫 (元・文部科学大臣。元・衆議院議員。
現・公益社団法人「小さな親切」運動本部代表)

大森さんご夫妻の、30年にわたる日本語学習のための私家版・教科書づくりと何万冊にも及ぶ寄贈活動のご努力には、ただただ頭が下がります。

お二人は、さらに「世界の日本語学習者『日本語作文コンクール』」を手掛けられ、各作品から浮かぶ、日本文化や日本人への関心やあこがれは、ご夫妻の活動が、**日本理解を押し広める貴重な礎**となっていることを見事に証明しています。

野村 彰男 (元・朝日新聞アメリカ総局長。
現・非営利活動法人「青少年育成支援フォーラム」理事長)



大森和夫 (元・朝日)・弘子 (新聞記者) 編著

大森 和夫 (おおもり かずお) 昭和15年(1940年)東京都生まれ。東京都・九段高校卒。早稲田大学第一政治経済学部政治学科卒。朝日新聞記者(大分支局、山口支局、福岡総局、大阪・社会部、調査研究室、政治部、編集委員)を経て、平成元年(1989年)1月、国際交流研究所を開設。

大森 弘子 (おおもり ひろこ) 昭和15年(1940年)京都府生まれ。京都府・西舞鶴高校卒。京都女子大学短期大学部家政学科卒。京都府・漁家生活改良普及員(地方公務員・3年間)。「季刊誌【日本】」、「日本語精読教材【日本】」、「日本語教材【日本】」、「新日本概況」、「デジタル版・日本語教材『【日本】という国』」の編集長。

ご注文は、全国の書店、アマゾンなどをご利用いただけます。トーハン 日販 その他 取次コード：5752

<p>「世界の日本語学習者」と歩んだ平成の30年間</p>  <p>ISBN 978-4-86185-273-2 発行日：2019年5月1日 A5判 192頁 並製 定価：本体2200円+税</p>  <p>送信 FAX 03-5956-2809</p>	<p>注文部数</p> <p>部 (送料無料)</p> <p>ご注文 / 番線印</p> <p>注文部数、住所 〒、氏名、電話番号をご記入ください</p>
--	--